

# 園長先生の子育てひろば

令和6年7月

園長 堀田 あけみ

そろそろ梅雨明けですね。暑い暑い夏がやってきます。

子ども達の大好きな遊具の沢山ある園庭ですが、気温が高過ぎる日には、外遊びを控えるようになります。正規の保育は午後2時までで、それ以降は最長午後7時30分までの預かり保育となりますが、こちらでは6月半ばあたりから、午後の日差しの強さに外遊びを控える日も出てきます。「お外で遊びたい」と言う子どももちろんいますが、少し我慢してもらいます。室内でも十分に体を使った遊びを展開できるのが椋山幼稚園の強みです。私が保護者だった平成の真ん中ごろ、園舎は赤い屋根の平屋建てでした。北から順に年中・年長・年少と、三本の線のように、並んでいました。それが15年前に大きな園舎になって園庭が小さくなったのが、前を通るたびに少し寂しく感じられたものです。けれど、ここ数年の酷暑を思うと、室内で沢山遊べる園舎はやっぱり動きたい子ども達の力強い味方です。

園舎の屋上には畑や果樹園があります。洗って食べられるように、横に台のついたシンクもあります。子ども達から見ると、ちょっとしたキッチンです。体力をつけるために、朝、みんなでぐるぐる走るのをマラソンと呼んでいます。夏場はそこにプールが設置されて、通常の保育でも、夏の預かり保育でも、大活躍します。メンテナンスが大変だったり、安全面での配慮で気が抜けませんが、子ども達の笑顔と歓声には代えられません。水遊びに関する資料を初めて読んだときには、「カラスの行水」への対策が書かれていて、しっかりお水に入れないうちのケアかな、と思ったら、本当にカラスが水浴びをしないとイケないので、その防止策でした。都会にいきなりできた大きな水たまり、暑いほどカラスにとっても魅力的なんでしょうね。微笑ましい話でもありますが、野生生物、特に鳥ともなれば衛生面での問題は大きいにあります。共存共栄とはいきませんが、それは野菜や果実についても同様で、実のなる木は何本もありますが、鳥に食べられてしまって子ども達の口にはなかなか入りません。野菜の方は、大きくなったら収穫して、給食のときにみんなで分け合います。年少さんでは、既に何度かキュウリの塩もみをいただきました。トマトやナス、オクラもそのうち登場するでしょう。最近はどうな野菜も年中いただけますが、旬の野菜は夏には利尿作用で体を冷やしたり、紫外線から守ってくれる成分を持ち、冬には体を温めたり、風邪を予防するのに役立ちます。お値段も安くなります。お子さんと一緒に旬の食べ物を調べて、簡単なお料理を一緒にしてみたいと思います。

室内で体を使った遊びをしっかりとできるの？と思われたら、ぜひ、ご自身の目で確かめてください。見学ご希望の方はお気軽にご連絡ください。7月に続いて9月にイベント「すぎやまようちえんであ・そ・ぼ・う・よ」が開催されます。一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

